



うわじま 市議会だより

平成18年
(2006)

第4号

8月1日



👉 昭和40年代の駅前通り

わたしのまちの今・昔

一般会計補正予算

19億4,759万3千円を可決
累計384億5,575万6千円



👉 現在

- 定例会の概要・請願陳情 2
- 人事の同意・意見書 3～4

もくじ

- 一般質問 4～11
- 行政視察報告 12

定例会の概要

平成18年6月宇和島市議会定例会は、6月8日に招集され、23日までの19日間の会期により開催されました。

【初日】6月8日
まず、地方自治法第179条第1項の規定により、急を要したため専決処分を行った「平成17年度宇和島市介護老人保健施設事業会計補正第1号」を承認した。また、地方自治法第179条第1項の規定により、急を要したため専決処分を行った「平成17年度宇和島市介護老人保健施設事業会計補正第1号」を承認した。

【最終日】6月23日
各常任委員長から委員会における審査経過と結果についての報告があり、採決の結果、原案のとおり可決決定されたほか、請願・陳情についても採決がなされました。
また、追加案件として上程された人事案件4件、議員提出議案2件につきましても、提案のとおり同意、可決され、6月定例会を閉会いたしました。

6月定例会議案等審査結果

番号	件名	議決結果
報告第10号	専決処分した事件の承認について	承認
専決第1号	平成17年度宇和島市介護老人保健施設事業会計補正予算(第1号)	
専決第2号	平成17年度宇和島市一般会計補正予算(第5号)	
専決第3号	平成17年度宇和島市病院事業会計補正予算(第3号)	
専決第4号	宇和島市税賦課徴収条例の一部を改正する条例	
専決第5号	宇和島市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	
専決第6号	宇和島市非常勤消防団員に係る退職給付金の支給に関する条例の一部を改正する条例	
専決第8号	宇和島市特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の特例に関する条例	
専決第9号	宇和島市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
専決第10号	平成18年度宇和島市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
専決第11号	平成18年度宇和島市老人保健特別会計補正予算(第1号)	
専決第12号	平成18年度宇和島市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)	
専決第13号	平成18年度宇和島市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	
専決第14号	平成18年度宇和島市港湾施設特別会計補正予算(第1号)	
専決第15号	平成18年度宇和島市宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	
専決第16号	平成18年度宇和島市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第102号	宇和島市国民保健協議会条例(案)	
議案第103号	宇和島市国民保護対策本部及び宇和島市緊急処理事態対策本部条例(案)	
議案第104号	災害派遣手当の支給に関する条例(案)	
議案第105号	宇和島市地域振興基金条例(案)	
議案第106号	宇和島市の職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例(案)	
議案第107号	宇和島市在宅介護支援センター設置条例の一部を改正する条例(案)	
議案第108号	宇和島市駐車場条例の一部を改正する条例(案)	
議案第109号	宇和島市九島開発総合センター設置条例の一部を改正する条例(案)	
議案第110号	平成18年度宇和島市一般会計補正予算(第1号)	
議案第111号	平成18年度宇和島市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第112号	平成18年度宇和島市介護保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第113号	平成18年度宇和島市水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第114号	宇和島市過疎地域自立促進計画の変更について	
議案第115号	土地改良事業の実施について	
議案第116号	土地改良事業の実施について	
議案第117号	新たに生じた土地の確認について	
議案第118号	新たに生じた土地の確認について	
議案第119号	新たに生じた土地の確認について	
議案第120号	新たに生じた土地の確認について	
議案第121号	新たに生じた土地の確認について	
議案第122号	新たに生じた土地の確認について	
議案第123号	新たに生じた土地の確認について	
議案第124号	新たに生じた土地の確認について	
議案第125号	新たに生じた土地の確認について	
議案第126号	新たに生じた土地の確認について	
議案第127号	新たに生じた土地の確認について	
議案第128号	字の区域変更について	
議案第129号	字の区域変更について	
議案第130号	字の区域変更について	
議案第131号	字の区域変更について	
議案第132号	字の区域変更について	
議案第133号	字の区域変更について	
議案第134号	字の区域変更について	
議案第135号	字の区域変更について	
議案第136号	字の区域変更について	
議案第137号	字の区域変更について	
議案第138号	字の区域変更について	
議案第139号	字の区域変更について	
議案第140号	市道路線の認定について	
議案第141号	宇和島市障害者福祉センターの指定管理者の指定について	
議案第142号	宇和島市障害児通園(デイサービス)事業施設の指定管理者の指定について	
議案第143号	宇和島市総合交流拠点施設の指定管理者の指定について	
議案第144号	宇和島市育苗センターの指定管理者の指定について	
議案第145号	宇和島市冷蔵所の指定管理者の指定について	
議案第146号	宇和島市被川温泉施設の指定管理者の指定について	
議案第147号	宇和島市林業総合センターの指定管理者の指定について	
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日同意
諮問第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
諮問第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	即日原案可決
諮問第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
議員提出議案第3号	さらなる総合的な少子化対策を求める意見書(案)	即日承認
議員提出議案第4号	食料・農業・農村基本計画に基づく施策に関する意見書(案)	
	議員の派遣について	

- 請願陳情**
- 〔今議会提出分〕
 - ◆ 請願第5号 喜佐方小学校プールの建設について (文教福祉委員会)
 - ◆ 請願第3号 喜佐方小学校プールの建設について (文教福祉委員会)
 - ◆ 請願第7号 宇和島市立吉田病院の充実について (文教福祉委員会)
 - ◆ 請願第3号 宇和島市営闘牛場(体育館)使用許可について (産業経済委員会)
 - ◆ 請願第1号 小規模工事等契約希望者登録制度と住宅リフォーム助成制度の創設について (総務企画委員会)
 - 〔継続審査分〕
 - ◆ 陳情第1号 継続審査
 - ◆ 陳情第5号 継続審査

人事の 同意

本定例会において、市長

から、4件の人事案件が提案され、満場一致で同意し、次の方が選任されました。

●人権擁護委員

井上 正明

(三間戸厩542番地1)

●人権擁護委員

廣澤 磯野

(丸之内3丁目7番23号)

●人権擁護委員

灘井 學

(和霊東町3丁目8番8号)

●人権擁護委員

久保 政文

(光満甲1278番地)

意見書

6月定例会に議員提出議案として提出された意見書(案)等は、議決され、関係省庁等へ提出されました。

★さらなる総合的な少子化対策を求める意見書

2005年版「少子化社会白書」は、04年の合計特殊出生率(1人の女性が生涯に産む子ども数の平均数)が1.288と過去最低を更新したことを踏まえ、わが国を初めて「超少子化国」と位置付けました。予想を上回る少子化の進行によって、これまでの予測よりも1年早く、今年には「人口減少社会」に転じる可能性があると指摘しています。これまでも様々な少子化対策が講じられてきまし

たが、依然として少子化傾向に歯止めがかかっておらず、これまでの施策を検証するとともに、効果的な支援策について更なる検討が必要と見えます。その上で、少子化対策は、単に少子化への歯止めをかけることだけを目的とするのではなく、すべての子どもたちが「生まれてきてよかった」と心から思える社会、子どもたちの瞳が生き生きと輝く社会を実現する視点が重要であります。子

育ては、今や、地域や社会全体が取り組む課題であり、わが国の将来を担う子どもたちの健やかな成長のために、社会全体で子育てをサポートする体制を充実させる必要があります。子育てへの経済的支援のほか、地域や社会における子育てのための環境整備、働き方を見直す社会の構造改革など、総合的に子育て支援策を展開するべきです。よって、政府においては、さらなる総合的な少子化対策として次のような施策を講じるよう、強く求めます。

記

- 1 抜本的な児童手当の充実
- 2 出産費用等の負担の軽減
- 3 子育て世帯向けの住宅支援

- 4 子どもを預けやすい保育システムへの転換
- 5 放課後児童健全育成事業等の充実
- 6 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)が図れる働き方の見直し

★食料・農業・農村計画に基づく施策に関する意見書

現在、我が国の農業は、農業従事者の高齢化と後継者不足等により危機的状況を迎えており、食料自給率のますますの低下が懸念されております。そこで政府は本年3月25日、2015年度を目標年次とする新たな「食料・農業・農村基本計画」を閣議決定いたしました。計画期間を2015年までの10年間とした上で、食料自給率の目標を現行の40%から45%に引き上げることや、担い手を明確にして支援・施策を集中化する農業構造改革、経営安定対策の導入、農地の有効利用の促進などを掲げています。

よって、政府におかれましては、食料・農業・農村基本計画に基づく施策の推進にあたっては次のような施策を講じられるよう強く要望する。

記

- 1 生産者と消費者の理解と協力のもと、確実な自給率引き上げ施策を推進すること。
- 2 日本農業の特性を考慮し、担い手は、意欲を持つ農業者及び地域で「育成すべき担い手」として認定される者すべてを対象とすること。
- 3 新たな経営安定策は、

農産物価格の構造的な低落を力バーし、耕作意欲をもてるよう本格的な所得補填策とすること。

4 農地保有合理化法人の機能強化を図ること。

5 担い手以外の農家、非農家、地域住民などを含めた農業資源保全の「共

同」の取り組みに対する本格的な支援策を導入すること。有機農業や環境保全型農業の推進を支援すること。

6 諸外国とのFTA交渉では、農林水産物の関税撤廃・削減は、国内農業への打撃を与え、WTO

農業交渉や他国との交渉に重大な影響を与えることから、慎重に行うこと

7 WTO・FTA交渉についての情報公開を徹底し、各国の農業者や消費者・市民の声を反映すること。



自由民主党

小清水千明

臨時、嘱託職員の整理について

【質問】

昨年12月定例会で、臨時職員97名、嘱託職員13名の計110名を整理するという答弁でしたが、実際は何名整理されたのでしょうか。

【答 弁】総務部長

臨時職員17名、嘱託職員14名の合計31名となっております。

【質問】

減らせなかった理由をお聞きしたいと思います。

【答 弁】総務部長

110名の削減計画は、18年4月1日に組織機構を見直し、正職員が110名ぐらいは余るであろうという想定で計画されたものですが、組織機構の見直しが予想どおり進まなかったことや勧奨退職者が予想以上に多かったこと並びに行政ニーズに対応するため、危機管理室や市民サービスセンター及び雇用創造室の新設など、予想どおりの減員ができなかったこととです。



【質問】

実際どこの部署で何名減らす予定だったかをお聞きします。

【答 弁】総務部長

どこの部署で何名ということではなく、市全体で正職員を減らすことにより、臨時、嘱託職員がおられるところを正職員で対応するということであつたかと理解しています。

解しています。

【質問】

結局見通しが甘かったというふうに理解してよろしいでしょうか。

【答 弁】市長

市の仕組み上、正職員に辞めてもらうわけにはいかない中、合併して正規の職員も増え、臨時職員については、どうしても仕方ないところを除いて基本的に雇用をやめようということと考えておりました。ただ、宇和島市の雇用状況が残念ながら改善の兆しがまだまだ見られなかった中で、臨時職といえども頑張っていただいており、2年間の期間を満たしていない人については雇用を続けることで決断しました。

【質問】

今年度、契約期間の切れの方が何名いて、どのような対応をするのか、また、来年度以降の対応について、お伺いします。

【答 弁】総務部長

現在、期間満了になる臨時職員については、110から差し引いた差額がおられ、

期間満了が来たら、原則として退職していただくことになっていきます。ただし、今年度も定年が35人ぐらいらおられ、勧奨退職もあると思われまので、すべての臨時職員を切れるかどうかは今のところ不明です。

【答 弁】市長

来年度以降となると、私の判断になると思いますが、まず、どうしても切れない難しい問題として、保育園、幼稚園等に臨時、嘱託職が結構あります。その方向性を見定めなければ、判断が難しく、中長期の計画を早く行い、行財政改革の中で、民間におまかせするのが、市がこれからやっていくのかというすみ分けをしなければいけないと思います。

職員の新規採用について

【質問】

6月号の広報に、平成19年度の職員募集の記事が載っております。上級職10名、中級職14名、初級1名ということでしたが、募

集理由をお伺いします。

【答 弁…総務部長】

行政事務、土木技師、管理栄養士、臨床工学技士、看護師及び診療情報管理士については、退職者の補充や管理運営上、必要な職員数の確保に努めようとするもので、建築技師、臨床心理士及び言語聴覚士については、それぞれ専門的な技術職員の確保を行うために、必要最小限の募集をしようとするものです。

【質 問】

初級職については、嘱託や臨時でも対応できるのではないかと思います。

また、公共工事が減っている中、土木、建築技師増員の必要性がさっぱり分



新規採用職員の辞令交付式

りませんが、その理由をお伺いします。

【答 弁…総務部長】

初級職員の採用については、家庭の都合で大学に行けない方もあり、高校卒や短大卒の方にも優秀な方はおられますし、市職員になる機会を公平に与え、地元

公明党

我妻 正三

AED公共施設設置について

【質 問】

現在、全国的に公共施設や不特定多数の方々が集まるデパート、空港、駅、病院、イベント会場などに設置が進んでおります。昨年開催された「愛地球博」の会場では、4人の方がAEDによって救命されたそうで、AEDの重要性を強く実感しています。
16年12月の質問に対し、「まず使える人の養成を始め、それと並行しながら機

に就職していただけるということは、それなりに意味があると考えます。

土木技師については、予算規模は確かに縮小していますが、事業件数はそれほど減っていませんので、管理監督上、一定の技師の確保は必要ではないかと考

械の導入も今後検討していかねばいけない」、また、17年6月の質問でも、「まずAEDを使える人を養成しなければいけない」ということで、今年では使える人の講習に力を入れてみよう」と、消防署を中心に頑張っていたと聞いています」という市長答弁がありました。
平成17年4月から始まった講習会を受けられた方は、現在何名いらっしゃるかお伺いします。

【答 弁…消防長】
AED講習会については、平成17年4月から「広報つわじま」にてお知らせし、救命講習とセットで、150件依頼がありました。総件数は、4,053人となっております。

えます。建築技師についても、合併後、すべての有資格者を本庁に集約し、効率化を図っているところですが、建築確認申請の受付には、1級建築資格者が必要です。また、団塊世代の退職者もあり、今後の建築行政を円滑に行うために、必

要最小限の予定人員であると理解しています。

その他の質問事項

◆国道56号線の整備について
◆タウンミーティングについて

◆小・中学校の耐震診断について



AED講習会

【質 問】

今後一人でも多く養成するため、講習会の開催をどのような方向性で進めて行くのかお伺いします。

【答 弁…消防長】

消防本部が主催しております月例の普通救命講習会は、毎月第2日曜日に開催をしています。また、各事業所並びに学校、PTA、

自治会などから要請がある限りどこにでも出向している状況です。この講習は、1時間から2時間の講習でもすべてAED講習と心肺蘇生法講習のセットで実施しています。今年から市内小中学校の教員を対象とした応急手当普及員講習会を夏休みの8月7、8、9日の3日間計画しています。
今後1人でも多くの指導員並びに普及員の養成を行い、応急手当普及員講習会を推進してまいりたいと考えています。

【質 問】

現在、本市の小中学校の教職員で、何人講習会を受けられた方がおられるのか、また、今後、市職員、教職員は講習会を受けるべ

きではないかと思っておりますが、今後予定はあるのかお教えください。

【答 弁…消防長】

平成17年4月から、教職員におきましては、522名受講をしております。

【質 問】

教職員は全員ですか。

【答 弁…消防長】

全員ではございません。参加できる範囲ということで解釈をしておりますが、かなり多くの数で講習を受けている状況です。

【答 弁…教育長】

市内の教職員の数は708名です。522名というのは、延べ人数で、実際は約300名、45パーセントぐらいの講習済みと認識しています。

【質 問】

市職員の方はどれぐらいですか。

【答 弁…総務部長】

職員については調べておりませんので、後ほどご連絡させていただきます。

【質 問】

子どもたちの生命を守る

防災について

【質 問】

今年4月に、あらゆる災害に備えた危機管理室の新設は、市民の安全確保の見地から、期待は大きく大変心強いと思います。

施政方針に防災計画を整備するとありますが、具体的にどのような計画かお伺いします。

【答 弁…危機管理室長】

宇和島市の防災計画は、災害対策基本法に基づき、

国の防災計画、あるいは愛媛県の地域防災計画と連携して、防災に関し、その処理すべき事務並びに業務の大綱を定め、市民の生命、財産等を災害から守ることを目的として策定するものです。

地震災害、風水害への対応を柱として、災害の予防、応急、災害の復旧の3つで対応していくというのが、だいたいのあらましです。

特に、初動体制である予防対策、応急の対策について、宇和島市に合った計画

観点から、公共施設、特に小中学校にAED設置を進めるべきだと考えますが、ご所見をお伺いします。

【答 弁…市長】

思った以上に受講者が進んでいるという報告を受けて、導入をどういつにやっていくか考えなければいけないと思います。ただ、置く施設については、やはり高齢者、一般の方が使用する部分からがいいのではないかと感じておりますが、宇和島市としての整備

にしていきたいと考えております。



その他の質問事項

◆疾病予防施策について

の検討をこれからやっていきたいと思っております。

【答 弁…教育長】

学校においても、AED設置については、その重要性を十分認識しています。ただ、教職員が自信を持って使うことができるというのが大事だと思います。

先ほども申しましたとおり、教職員に関しましては、十分講習が完了しております。そちらの方面でさらに努力をしてみたいと考えております。

自由民主党

薬師寺三行

円滑な行政推進のための

市職員のレベル

向上について

【質 問】

合併後の行政運営はスムーズに行なわれているか、職務を遂行する職員の連携とレベルの向上は図れているのかお尋ねします。

自己申告制度、昇格試験

等の職員のやる気や積極性を引き出せるための方策は取られているでしょうか。昇格試験の導入は職員が知識を身に付けることができ、市民へのサービス向上にも繋がると考えます。これは職員のやる気・積極性を引き出す方策にもなるかと考えます。市長のお考えはいかがでしょうか。



【答 弁…市長】

合併直後、多少のことはあったと思いますが、概ね最低限の行政サービスは支障なく遂行されていると理解しています。ただ、個々の部分でいくと、改善しなければいけないところはあろうと思っております。

合併後、宇和島市は大変

大きな職員数を抱えることになりました。そういう中で、客観的にものを見ることのできる物差しが是非とも必要だということで、昇格試験は早急に導入したいと考えています。

具体的には、今年度内のできるだけ早い時期に昇格資格試験を導入する準備を進めています。今年度は合併初年度ですので、基本的に

は行政職の職員には全員受けてもらつつもりで準備をさせています。

勤務評定は、旧宇和島市では7年前から実施しておりましたので、評価を昇格・昇給に反映させる体制ができていけると理解しています。

しかし、旧3町では勤務評定をされておりません。昨年からの勤務評定をする管理職の研修を行な

地域医療の

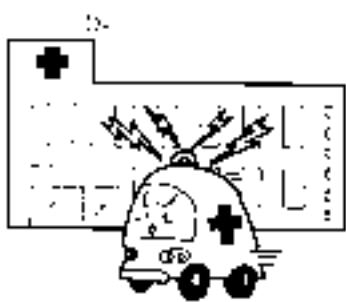
今後について

【質問】

市立2病院は、医師不足等で毎年多くの赤字を出しているが、公立病院は地域医療を維持するため、ある程度の赤字はやむを得ないが、半永久的な繰り入れ補てんは限界にきています。

そんな中での医師確保の見直し、病院事業の現況と改善点、病院の改築は予定どおり進んでいるのか、工事中の市立病院の駐車場は機能を果たしているのか、宇和島圏域での医師確保に

向けた取り組みについての市長のご所見をお伺いします。



【答 弁：市長】

津島の方は最低限度の人数であります。院長以下体制ができ、新たな津島病院としてスタートしている状況です。

い、勤務評定を実施しました。ただ、人事担当者からは、あまりにもバラツキが多すぎて、これを採用できるレベルにはないという報告を受けております。

しかし、一方で安閑と何もせずに直感で評価をしていくわけにもいきませんし、今の評価を参考にしながらやっていくことと思っております。

吉田の方は難渋をしているのが現状だと思います。暫定的な院長さんをお願いしていますが、これからの方向性を出していく院長さんの、はっきりした答えが出せていないのが、一番の悩みです。

吉田の医師は1名増えましたが、ベッド数を有効に稼働させるまでには至っていないので、今後ベッド数をどのように稼働させていくか、地域の状況なども見合わせながら、早急に判断していかねばならないと思っております。

合併して3つの公立病院ができ、宇和島病院はより

専門的な救命救急を中心とする高度医療に特化していくこと、吉田・津島は、慢性的な医療を中心にしていくことというふうな大きな色分けはしています。津島・吉田病院は、今後、地域医療に徹していくべきではないかと考えております。

医師の確保のために、県は奨学金制度を考えていますが、本市としても、宇和島圏域の出身者で対象の学生が出てきたら、対応できるように条例化等も含めて検討していきたいと考えております。

【答 弁：医療行政管理局長】
本体工事着工に伴い、第

日本共産党

坂尾 眞

介護保険法 改定後の問題点と 減免制度導入について

【質問】
現在、特別養護老人ホームの待機者は、約340人から

2駐車場、59台使用できないようになっており、大変な迷惑をおかけしております。対策として、伊達博物館・サンシャインに20台確保し、そちらを利用していただくこととしております。工事中の市道が完成し、供用開始になりましたら、桜町の工事現場の南側に確保している33台も利用できるようになります。

その他の質問事項

- ◆美しい住み良い環境づくりについて
- ◆選挙のシステムについて
- ◆市長の公約の推進について

350人程度おられると聞いております。

今回の介護保険の改定に基づき、特に特老などの補助金等の削減により、宇和島地域における特老施設の新設というのは、不可能になってきていると思っております。また、かなりの人数が保険料を払って、待ち望んでいる状況であり、まさに保険あつて介護なしの状態

になっております。しかも今回の改定により、施策の提供主体が市町村に移されたわけですが、同時に権限も移ってきたのではないかと思います。しかし一方で、三位一体の改革で地方の財政が厳しくなる中、市長として今後どのような対応を考えておられるのか伺いします。

【答 弁…市長】

まず施設の問題ですが、現在本市では、三浦地区に50床ある特老施設を建設中で、これが稼動しますと、50人収容できるということになります。ただ一方で、これまで介護施設、介護保険施設として入れない方が、一部、医療の方にも入ってきて、療養型として利用してもらったところがあるわけですが、今回の医療制度の改革により、大変難しい状況となるであろうし、大変頭の痛い問題であると思っております。

また、総論として、介護保険料については、毎年値上げをお願いしてきている中、これ以上の負担増を一般市民にお願いするのは限

界に近づいているのではないかと感じます。そうすると、多少のことはできるとしても、基本的にはこれから施設を増やすことはなかなか難しいと思います。



結論として、今までは施設中心で介護の必要な方の対応をしてきたのを、やはり国がいうように、家庭に戻って自分の家で何とか見ていただけるシステムをもう一度考えなければいけないと思っております。ぜひとも市民の方々のご理解をいただけるように、そういう意味での啓発も、これからやっていかなければいけないと考えております。

【質問】

介護保険料、利用料の減

免制度の問題について、今回の改定に基づき、一般会計の繰り入れや減免制度の導入等に動いた自治体もかなりあるように聞いております。本市においても、一般会計の繰り入れ、減免制度の導入等について、積極的な調査や行政判断をお願いしたいと思うのですが、市長いかがでしょうか。

【答 弁…市長】

保険料について、本市独

国民健康保険料について

【質問】

介護保険と同様に、国民健康保険料は、市民に大きな負担となっており、保険証が取り上げられていく世帯は、聞くところによりますと、平成13年には24世帯であったのが、現在55世帯と倍になっておりますが、これは近隣の市に比べたら少ない方だと理解しております。

近日中に、国民健康保険料の審議を行う国保運営委員会が開かれることになっ

自の減免制度は、現在考えておりません。理由については、何度も言わせていただいておりますが、公平な負担を願うというのがあるからです。さらに、これ以上高くなると、今の最低保障制度、年金をいただいている方の最低金額、それから生活保護をもらっている方々の金額からしたら負担でなくなるのではないかとこの



ているようですが、国民健康保険料の改定の見通しについて伺います。

【答 弁…市民税務部長】

現在、具体的な数字は固まっております。

ただ、来月予定しており

とで、ご理解いただきたいと思えます。なお、現在導入されておりますホテルコスト、食料代等の一割負担の問題については、広域事務組合の方で軽減措置を定めなければならぬということ、所得に依りて減免制度をつくっておりますので、必要のある方については、利用していただけたらと考えております。

ます運営協議会には、平成17年度の決算状況や国保事業、国保状況を参考に、平成18年度の国保の保険料の審議をお願いする予定です。

現状として、平成18年度の保険料については、昨年度は旧市町それぞれ独自の方法で保険料を定めておりましたが、これを統一するということが一本化になります。

今現在、一番高いのが吉田町で、一番安いのが三間町です。それが同じルール、同じ算出方法で、同額になります。

その分については、医療費の伸び等を勘案して、18年度の医療給付費を見込んでいますが、改めて、この医療給付費の見直しも行っていただいております。

自由民主党

大窪美代子

公立保育園の分園について

【質問】

ある公立の保育園では、定員30名に対し、入園児5名、職員数5名という状況にあります。その他にも職員数に比べ児童数の少ない園が多く見受けられます。児童数5名に園長1名、調理員1名ではなく、近くの保育園の分園とし、園長は兼任とし、調理員は大きい園に引き上げ、給食を配達してはどうかと考えます。地理的に近くであれば、2・3園分を1カ所で複数の調理員で調理してもいいのではないのでしょうか。

その他の質問事項

- ◆市立宇和島病院の看護師におけるサービス残業について
- ◆プルサーマル計画について

【答 弁：保健福祉部長】

少子化に伴い、保育所の総合的な計画を今後検討していかなばならないと考えています。児童の少なくなった保育園の分園化も選択肢の一つと考えられるかと思っております。

しかし、老朽化している施設が多く、状況によっては、統廃合して建て直すことも考慮に入れ、今後地元の意見も聞きながら検討したいと考えています。



給食調理の統合については、分園を実施すると、メリットもありますが、主となる中心保育園との連絡、給食の運搬手段等を整える必要を生じてきます。そういうことも考え、地元の皆さんの意見を参考にしながら、検討していきたいと考えております。

幼保一元化について

【質問】

県内では、西条市立東予南保育所が幼保一体型の施設として運営しており、所長は、大きな行事を保育所と幼稚園の合同で行なうことで、異年齢間の交流が深まると言っています。当市においても、幼稚園、保育園の定員が大きく割れている地域の幼保一元化は財政的にも保護者にも理想ではないのでしょうか。ぜひ早い時期に検討をしてもらいたいと思います。

【答 弁：市長】

和霊保育園と山田保育園を統合して1つの保育園として改築し、民営化したい

ということ、社会福祉法人「元気の泉」さんに事業化をお願いしております。今年申請し、国庫補助が確定したら2園を統合して1つの保育園をつくる予定です。「元気の泉」さんも、

将来の幼保一元化も視野に入れていけると聞いています。隣に幼稚園もあり、幼保一元化をかなりの部分で実現できる施設になるので、はないかと期待しています。

【答 弁：教育長】

幼保連携施設、認定こども園については、地域の実情に応じ、就学前の教育・保育機能充実を図り、利用者の選択肢を増やすことが可能となりましたが、解決しなければならぬ課題も多いことは事実です。

今後10月1日の施行に向けて、内容等を十分精査しながら、どのような形態が宇和島市の実情、利用者のニーズに合致するのか、子ども達にとって、最適な教育、保育環境はどうかあるべきかなどを十分に調査研究していきたいと考えています。



その他の質問事項

- ◆南予の観光振興について
- ◆海の駅について

社会民主党

岩城 泰基

給食施設の建設について

【質問】

3月定例会での質問に対し、平成18年1月に検討委員会を設置し、月1回のペースで検討をしていると答弁されております。設置が1月25日ですので、実質的な検討は2月からだと思われま

5月12日には岩松校区の保護者説明会がなされています。この状況を見ますと、方針案作成までの検討期間



保育園の統合と 民間委託について

【質問】

宇和島市保育施設整備計画は、平成13年12月の福祉問題検討委員会保育部会答申を受け、計画されています。方向性としては、統合、民間活力導入、施設の建設、運営を含めて公募を実施しました。それから選定評価委員会の設置を決定いたしました。平成15年10月号の広報つわじまで建

は、2、3、4月の3カ月間と考えられます。保護者説明会の通知文には、様々な角度から協議を重ねてまいりましたとの記載もありませんが、給食施設の持つ機能は、食育の推進をはじめ、多肢に渡るものがあります。私としては、拙速さを危惧せざるを得ません。

学校給食センター建設検討委員会の協議経過についてお伺いします。
【答 弁：教育次長】
本年1月25日学校給食セ

ンター建設検討委員会を設置し、現在5回の委員会を開催しております。協議の中で、新たにセンターを建設するのであれば、旧津島町の学校もカバーできるセンターが望ましいという意見が多数を占めております。その中で、津島の保護者への説明会を開くことが大事ではないかという意見もあり、5月17日より6月8日まで津島地区各校別

設・経営を希望する法人に参加の呼びかけを行っております。それと、平成15年12月、住民への周知として、お知らせを配布しております。「保育所民間委託に伴う横浜地裁の判決で、横浜市は保護者と協議を実施しているが、建設的協議が市側の対応によってできなかった。」ということが厳しく裁判の中で批判されています。宇和島市は、今回の統合、民間委託について、住民説明会をやられたか疑わしく、保育部会答申

に保護者や市民の意見反映ができる仕組みは取れたのか、また、お知らせを出すまでに保護者説明会、保育士等への周知は実施されたかどうかお伺いします。



【答 弁：保健福祉部長】

平成13年度の宇和島市福祉問題検討委員会の委員の構成ですが、30名の委員を選出しまして、慎重に討議をいただきました。その中の保育部会で検討していただき、当時の厚生委員会の議員の皆さんの尽力により、宇和島市の民営化がスムーズにいき、非常に好評を得ました。

今回、前回と若干違つのは、前回は、既存の施設を民間に委託するというものでしたが、今回は次世代育成支援対策施設整備交付金をいただいて、新しく施設を建設するという事で、国の了解がないと、細かい説明ができないということですので、お知らせという形で保

護者の方にも連絡させていたできました。

そして、保護者の代表に来ていただき、保育園に対する要望、代表者としての意見は聞きました。保護者全員を集めての細かな説明会はしてありません。

それから、保育士等の周知徹底については、団体交渉の席で、説明を聞いていないという話がありましたので、平成18年1月に、再度、担当課より全員に説明をいたしました。また、それまでも、園長会、主任会で経緯の説明をしてきております。

その他の質問事項

◆人事異動、職員配置並びに職員研修について

公明党

松本 孔

海の駅構想について

【質問】

現在、市職員20名の海の

駅整備事業プロジェクトチームが結成され、具体的な検討を重ねていると伺っております。

基本方針は、新たな視点に立った産業振興策の一つとして、地元で生産された農林水産物及び加工品等の販売、施設を中心として総

合的な交流拠点づくりを指すとなっており、整備計画は合併債を活用、公設民営の方向であると聞いております。新内航港湾地域であることから「港オアシス制度」を活用することです。中国整備局港湾計画課によりますと、港オアシスは、まちづくりの拠点施設を指定し、その取り組みに対し、国が各種支援を行う制度であり、「地域の住民が主体となったみなとまちづくり」「既存の建物を用いる限り有効活用する」ことが基本方針であり、新たに大きな規模の施設を建設するのではなく、あくまでも地域住民の取り組みを中心とし、付随的に活動拠点としての施設を指定する

と明示しております。

はじめに施設ありきではなく、取り組みが重要であります。たとえば施設は田んぼの中のビニールハウスでも、地域住民のニーズと顧客のニーズがマッチすれば、双方が喜ばれます。大きい施設をつくってよとするのではなく、地産地消の拠点、観光客が地域文化

を知ることでできるような拠点づくりをしていただきたいと思いますが、ご所見をお伺いします。

【答 弁：市長】

海の駅（総合交流拠点施設）は、外に対する情報の発信、そして、外から来ていただける方を増やして、宇和島圏域にお金を落とすように考えております。ですから、ターゲットは、宇和島圏域からの客をメインに考えた施設づくりをしたいと思っております。これから、市民の皆様にごういう形で参加していただくか議論していかなければと思います。まだはつきりしたものは決まっておりますが、総合的な交流拠点づくりを目指すものです。



景気回復のための活性化対策について

【質問】

本年4月、県に「南予活性化特別対策本部」が設置されました。雇用情勢が悪化し、人口減が加速すると

地域の活力がさらに低下します。知恵と熱意を集め、活性化を図らなければなりません。県では、本年度、南予活性化などに関する秀でた政策を提案、事業化した若手職員に報奨制度を設けました。わが市でも、積極的に地域活性化策を収集

し、事業化を図るべきだと思います。今治の企業誘致促進専門部会は、設備投資が期待できる好況な業種を中心に誘致活動を行い、企業動向を探るため、設備投資に意欲的な液晶半導体関連業種1,000社にアンケートの実施を決めました。

わが市の企業誘致の状況をお聞かせください。



シロキ工場跡

【答 弁：産業経済部長】

企業誘致、特に雇用に即効性のある製造業については、雇用情勢の悪化する宇和島市への立地が望まれていくところです。しかし、国内景気がゆるやかな景気回復傾向にあるといいますが、地方への工場進出は鈍く、3月末には、完全閉鎖しましたシロキにしましても、工場を海外に立地しています。また、工場跡地についても、今のところ目途がたたない状況です。このような大変厳しい宇和島圏域の工場立地動向ですが、宇和島市といたしましては、今後鋭意取り組んでまい

所存です。当面は南予地域活性化対策本部の設置を受けて、当市に設置されます宇和島市地域活性化懇話会及びこの懇話会の作業部会であります職員部会におきまして、重要課題として協議・研究をしてまいりたいと考えています。また、経済界の情報等を収集して、これに対しても対応していきたいと考えています。

その他の質問事項

- ◆環境問題について
- ◆汚水処理計画について
- ◆文化行政について
- ◆首長の退職金の認識と対応について
- ◆子どもの安全対策について

議会を傍聴しませんか

議会の傍聴は、市政の動きを知るよい機会です。市民が選んだ代表が、議場でどのような発言をしているのか、また、市がどのような施策を行おうとしているのか、自分で確かめ、議場での雰囲気を感じてください。本会議は、どなたでも傍聴できます。

行政視察報告

総務企画委員会

日程 5月16日～19日
視察地 東京都あきる野市
長野県千曲市
新潟県小千谷市

目的
○合併の効果と問題点

○指定管理者制度について
○行政改革の推進について
○危機管理について

参加議員
副委員長 河野 貞彦
石崎 大樹
赤岡 盛壽
藤堂 武継



あきる野市役所前にて

文教福祉委員会

日程 5月16日～19日
視察地 長野県大田市
石川県金沢市
石川県輪島市

目的
○医療機関の連携について
○中学校選択制について
○街並み環境整備事業について

○都市ルネッサンス整備事業について

参加議員
委員長 上田 富久
副委員長 清家 康生

委員 福島 朗伯
我妻 正三
山内 秀樹
兵頭 司博
三好 貞夫



金沢市役所での視察

環境建設委員会

日程 5月9日～12日
視察地 沖縄県宮古島市
沖縄県うるま市

目的
○地域再生計画「エコツーリズム・海上の道づくり」について
○ごみ処理問題（EM菌活用）について

参加議員
委員長 薬師寺三行
副委員長 大窪美代子



美島クリーンセンターにて

委員 岩城 泰基
松本 孔
富永 照瑞
大塚 萬義
清水千明

産業経済委員会

日程 5月15日～18日
視察地 千葉県野田市
宮城県気仙沼市
岩手県大船渡市

目的
○合併後のまちづくりについて
○食を生かしたまちづくりについて
○水産振興について

参加議員
委員長 玉田 和正

副委員長 赤松 与一
木下善一郎
山下 良征
若藤 富一
赤松南海男



気仙沼魚市場にて

議会運営委員会

日程 6月17日～20日
視察地 北海道当別町
北海道小樽市

目的
○表敬訪問
○議会運営について

○市立小樽病院の経営状況について

委員長 土居 秀徳
副委員長 藤堂 武継
上田 富久
松本 孔
薬師寺三行
福本 義和
泉 雄二
浅田 良治
議長 小清水千明
副議長



当別町夏至祭にて

